



心弾む思い

園長 眞家 順子

庭の梅が咲き、春の訪れを感じます。咲き始めたとき子どもたちが、咲いた梅の花に顔を近づけ、ほのかに香る花の匂いに「いいにおい」「梅干しじゃない匂いがする」と、教えてくれました。

暖かい日や寒い日を繰り返していますが、日当たりのよい本園では、子どもたちが弾むように園庭に飛び出し、元気いっぱい体を動かし遊びを楽しんでいます。年長児は、小学校1年生からいろいろな縄跳びの飛び方があることを教えてもらったことで、「あや跳びが、跳べるようになったよ」「走り跳びの速さを測ってほしい」と、自分でやりたいことをみつけて意欲的に遊ぶ姿が見られています。年中児は、年長児の二輪スクーターに劣らぬ



速さで、三輪スクーターを乗りこなし、風を切って広い校庭を走り回っています。また、登り棒やうんていで体を揺らし合ったり同じ動きをし合ったりしながら笑い合っている姿も見られます。年少児は、鬼ごっこをしていて必死で逃げなければならないほど足が速くなったことや、持久力がついたことを感じます。自分が思うように体が動く楽しさや、できることの喜び

が成長を感じる一つとなっていると思います。

子どもたちは一つ大きくなることに、日々、楽しみながら期待を膨らませ自信を深めています。心弾む思いや自信が大きな動きや意欲に、つながっている姿を頼もしく、嬉しく感じています。

これも京橋朝海幼稚園の子どもたちに、保護者・地域・関係の皆様から多くのお力添えを賜ったおかげと深く感謝申し上げます。



今月の学年目標



- ・自分の思いを言葉で表そうとしながら、みんなと一緒に過ごす楽しさを感じる。
- ・自分の成長を喜び、いるか組に進級することを楽しみにして生活する。



- ・いろいろな友達とかかわり、思いを出しながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。
- ・かもめ組に進級する喜びや期待をもって、生活する。

- ・園生活の楽しさを十分に味わいながら過ごし、自分自身や友達の成長を感じる。
- ・一年生になる期待をもち、自信をもって遊びや生活を進めていく。

